

ごあいさつ



皆さまには、日頃より、新潟県信用農業協同組合連合会（JAバンク新潟県信連）に格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は、昭和23年の創立以来、「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合精神の基本理念に基づき、JAとともに新潟県の豊かな「農業」と「暮らし」を金融面からサポートしてまいりました。このたび、当会の事業・経営に対する一層のご理解をいただくため、平成23年度の業績や活動内容をまとめたディスクロージャー誌を作成いたしました。ぜひご高覧いただければ幸いに存じます。

平成23年度は、東日本大震災および原発事故による被害に伴い大きな打撃を受けたものの、懸命の努力により国内経済は持ち直しに転じました。しかし、歴史的な円高の継続や海外の景気減速に伴う影響等もあり、緩やかな回復にとどまっています。また、販売農家数・農業就業人口の減少や消費低迷による農畜産物価格の低下、農業融資分野やリテール分野での競争の激化など、農業や系統信用事業を取り巻く環境は厳しい状況が継続しています。

このような情勢のもと、JAバンク新潟（信用事業を行っている新潟県下JAと当会を併せた総称です）では、中期戦略（平成22年度～平成24年度）において、「“農業と暮らしに貢献し、選ばれ、成長し続けるJAバンク”の実現」という基本目標の実現に向け、農業担い手への金融対応力の強化により農業メインバンクの地位を堅守する取組み、貯金・ローン等各種顧客サービスの充実による生活メインバンク機能の強化を重点に、取組みを進めております。

当会といたしましても、平成24年度は、第14次中期経営計画（平成22年度～平成24年度）の最終年次であり、JAの事業伸長や施策の完了に向けた支援を徹底し、JAバンク新潟の県域本部としての更なる機能発揮に努めてまいります。また、現在の経営環境を踏まえ、リスク管理に重点を置いた事業運営を図るとともに、高度化・専門化する業務に対応できる人材の育成に取り組み、組合員をはじめ地域の皆さまからの期待と信頼に応えてまいり存でございます。

今後とも皆さまの一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成24年7月

経営管理委員会会長

萬 歳 章

代表理事理事長

石 橋 文 夫